



昭和 4 8 年

5 月 号



社法人 東京都宅地建物取引業協会
府中 稲城支部

四月定例役員会

とき……昭和四十八年四月六日午後二時～六時

ところ……富士銀行府中支店会議室

出席者……山村、関谷、石川、榎崎、加藤武、久保木

鈴木、井黒、加藤肉、栗山、野口、染野、

出口、佐藤各役員

欠席者……松原、大島、小沢、成沢各役員

報告並審議事項

（一）定時総会開催の件

右の件に関し榎崎総務部長より、

①昭和四十七年度事業報告案十四項目

②昭和四十八年度事業計画案七項目

の提案があり一同慎重にこれを審議の結果、若干

追加項目あるも全員賛成、来たる四月十日の総会に

はかることに決定した。

◎昭和四十七年度決算報告について

◎昭和四十八年度収支予算案について

右の件につき野口経理部長より、業協会は社団法

人なので経理処理は複式簿記で勘定科目も本部指示

通り統一するのでその説明会を来る四月十一日に、

経理部会があるので今回はどうするかとの事なので

一同審議の結果、やはり総会に決算報告は不可欠な

ので、昨年度の決算報告を行い予算案については、

後日提出するという事で決まった。

□自主規制に関する件

去る三月二十九日に本部で自主規制委員会が開か

れたが、委員長不在のため中山会長出席、業協会員

で保証協会未加入者の扱い等につき検討した。

○監査の件

各支部監査役が今回始めて本部に招集され支部経

理内容監査方法等につき種々話し合いが行なわれた

との報告あり。

四会員基本台帳の件

右の件につき久保木組織部長より、現在本部より当支部関係二十二店舗（但新規加入十七店舗）が、会員基本台帳が出てないので至急出して欲しいとの要請あり。

（五）関係業法の件

右の件につき佐藤指導部長より、今年度は国土総合開発法案、森林法の改正等いろいろな業者に関係の深い法律の改正、或いは立法、施行が予想されるので会員夫々研究して欲しいとのこと。

（六）協同組合の件

右の件につき加藤専務理事より、最近各支部とも、農協対策という面から事業協同組合結成が盛んであるが、三多摩では三多摩ブロック全体で規模の大きな協同組合を作ろうではないかという案が現在検討されているとのこと。

（七）調停委員会の件

右の件につき本部より支部内におきた調停事件がある場合には年度末なので報告してほしいとの

ことなので、本年度は当支部に調停事故は無いと報告済みと鈴木調停委員の発言あり。

（八）本部総会の件

右の件につき榎峠総務部長より、来る五月末日に文京公会堂にて開催予定という報告あり。

（九）住宅流通サービスの件

此度三井信託銀行、ときわ相互銀行、相銀住宅ローンセンターの三者提携による「住宅流通サービス買換システム」なるもの出来だったので会員の御利用を願いたいとの事、尚詳細については梯ダイワ不動産山村支部相談役にたずねられたし。 ー以上ー

「お詫び」

前号同舟十三頁の役員名簿中のお名前が違いましたので訂正いたします。

「誤」

「正」

監事 栗山新三郎 ↓ 栗山新之助

監事 井黒幸三郎 ↓ 井黒幸之助 ー以上ー

（報道部長）

昭和四十八年度定時総会開かる

日時・昭和四十八年四月十日午後四時より

会場・常盤ハワイアンセンター会議室

出席者・本人出席五十三名、委任状二十五名

昭和四十八年度宅建府中稲城支部定時総会が去る

四月十日に湯煙りただよう福島県いわき市常盤ハワイアンセンターにて開催された。

定刻午後四時より加藤貞専務理事の司会により、

総会を開催

①開会の辞

石川副支部長

②感謝状贈呈

関谷支部長

贈呈先

富士銀行府中支店殿

同栄信用金庫稲城支店殿

③挨拶

④議長団任名

議長 添木 氏 (日広商事)

副議長 渡辺喜一郎氏 (渡辺商会)

書記 池下文一氏 (玉川不動産)

書記 栗原常夫氏 (光不動産)

議事録署名人 結城一等氏 (あびす屋不動産)

⑤昭和四十七年度事業報告承認の件

榎峠総務部長

⑥昭和四十七年度収支計算承認の件

野口経理部長

⑦昭和四十八年度事業計画決定の件

榎峠総務部長

⑧昭和四十八年度収支予算案の件

野口経理部長

⑨閉会の辞

加藤貞専務理事

以上

右の様な次第で総会の進行が行なわれたが席上

①同舟に関する件 結城一等氏 (あびすや)

②会員名簿に関する件 吉田光宏氏 (未広土地)

の質問があり、これに対して出口報道部長の応答があり両氏これを了解した。

又事業計画案(8)にもられた支部運営費を創設徴収することに付き野口経理部長より内容の説明があり
①事務局設置、②専従職員の雇用、等による支部運営の充実をはかるためにも会費の値上げをしたい旨を全員一致で賛成し、四月から一店舗二千円也を集める事に決定した。

尚最後に新入会者として

水瀬武男氏(水瀬商事)

榎本平八郎氏(府中拓建不動産)

武富正広氏(交陽商事)

高橋耕徳氏(府中不動産)

以上四名の紹介がありました。

―以上―

別頁にも総会関係記事がありますので参照して下さい。
(報道部長)

これからの不動産業はどうなるか、関谷生前号でものべましたが猫の目が変わる如く法案が後から後からと新設される其の上覚え込んで実行に移しつつある時法律は改正されるという悪循環ゆえに皆様も大変におこまりの事と存じます。大変な事とは思いますがやはり業者である以上御客様の質問にはお答えしなければならぬ此れについては現執行部でも一ヶ月一回位は都庁や本部の指示に関係なく当府中稲城支部では実行に移し万全の体型をととのえておきたいと思つて居ります。大分テーマからはづれましたが、やはり今後の不動産業者は先ず法律に強くなつて置くことです。其の上に大手業者対抗の為に今各方面でさげばれている協業です。此の協業に対してはたま土地の社長加藤武さんが当支部の農協対策委員長で副委員長守屋商会の榎峠優さん同じく一栄不動産の社長松原栄一さん同じく小沢土地の社長小沢重吉さんの四委員によつて結集して現在は研究中であります。此の様な協業問題に近いシステムによ

つて協業を会社組織にして起した紀の国屋の社長加藤友三郎さん社長となつて営業を開始した多摩公正開発のありかたも一つの協業でした人員は約十八名

此の様な協業は是非当支部でも皆さんによる研究会を作り座談会を開き大手業者に負けない様な事業をしようではありませんか。

でした。また現在町田地区の建売も未広土地の社長吉田さん光不動産の社長栗原さんによつてチームを作り七名による協業であります。其の外にも未広さん光さん都さん笠原さんマルイさん等は年何回も協業的業務を行つて居られるようであります。尚又不動産エビス会は栗山新助氏が社長となつての協業もあります。此の様にかぞえて見るとかなり当支部でも相当大ぜいの方々が経験済みの方が居りますから、いざやるとなるとよい協業が出来得る事と存じます但し主役となる方が相当物資面でも精神面でもぎせいに忍耐が必要であります。では端役はどうでもよいと言うわけではありません。此れはもつともつと協力せんと実ならず終る結果が多い様であります。先ず何によりもチームワークをハークして行うことが一番大切ではないかと思ひます。

―以上―

昭和47年度事業報告

- (1) 5月15・16日箱根湯本ホテル現地集会以て春季旅行会を開催、会員相互の親睦を計り有為の内に終了、解散する。
- (2) 8月11日より13日まで第12回府中商工祭の定例行事として参加、大國魂神社境内にて不動産無料相談所を設置、市民の相談に応じる。
- (3) 10月11日調布スポーツセンターに於けるボーリング大会を開催する。
- (4) 10月11日富士銀行府中支店に於いて東京都住宅局指導部、公取協より講師を招き宅建業法及び物件説明書並びに公正取引規約に就いて講習会を開催、尚、府中税務署より係官出席のもとに青色申告に加入する様希望あり、種々説明を受ける。
- (5) 10月19・20日湯本清光園にて秋季旅行会を現地集会以て挙行し盛会の内に終了する。
- (6) 10月26日当支部及び調布粕江支部合同不動産無料相談所を京王調布駅北口に開設、市民の御相談に応じ社会的信用倍加運動の一端とする。
- (7) 11月3・4・5日稲城市制記念商工祭の行事の協力として不動産相談所を開催、市民相談に応じる。
- (8) 11月4日厚木国際カントリークラブに於いて業協会本部主催ゴルフ大会開催され、当支部代表会員4名が参加する。
- (9) 昭和47年11月29日事業所実態調査を東京都住宅局指導部指導課の担当主事2名により茲なわれ、支部自主規制の一環事業として測面より協力する。
- (10) 12月12日立川市社会教育会館に於ける保証協会ブロック説明会に多数参加する。
- (11) 12月15日全国宅地建物取引業保証協会発起人総会が東条会館に於いて開催され、議案原案通り可決、6月24日を期し営業開始すべく入会申込手続、事務所の設置の準備を行ない支部長が支部を代表し出席する。
- (12) 12月15日頃不動産手帳を作成有償配布する。
- (13) 1月12日調布「喜楽」に於いて48年新年宴会を盛会の内に行ない会員の更に一層の交友と親睦を計る。
- (14) 2月22日立川社会教育会館に於いて東京都住宅局主催の業法改正其の他について講習会開催され、これに参加する。
- (15) 3月15日富士銀行府中市店会議室にて不動産業者による防犯協会の設立宅建業法の取引事犯等につき府中警察署係官を招き監察委員会の主催に依り防犯懇談会を開催する。

昭和48年度事業計画（案）

昨年、田中内閣の「日本列島改造論」を基調とする地価の異常なる高騰は、その理由に法人大手不動産業者及び商社の貧慾な営利追求に始まる買占め保有にもとづくとも云つても過言ではない。斯かる地価高騰抑制の為政府は土地税制並びに土地高度利用、公害防止に関する一連の規制等を強く打出す姿勢の内に昭和48年度は業界にとり多事多難なる年を迎えました。

この様な激動的な状態を踏まえて意慾的な事業計画案を作成し強力に実行しその実現を計りたいと思います。

- (1) 昭和48年度本部事業計画案を基本に積極的且つ意慾的にその実行に協力する。
- (2) 会員各位の業務繁栄と従業員の福利厚生強化を目指し、積極的に懇談会を開催研究する。
- (3) 会員の資質向上と繁栄の為、各種講習会の開催を行なう。
 - (イ) 会員の宅建業法の尚一層の理解の為の勉強会
 - (ロ) 建築基準法及び不動産税法等につき講師を招き実務的な講習会の開催
 - (ハ) 保証協会の設立に伴なう新入会員の取扱いにつき特別に慎重なる配慮を払う。
- (4) 自主規制の強化
 - (イ) 業法の違反について調査を行ない該当者に対し強く指導し将来問題のない様努力し、社会的信用倍加に努力する。
 - (ロ) 不動産取引事犯の発生しない様努力する。
- (5) 契約更新時の業者の報酬について
今日まで不統一の取扱いを調査し統一を計りたい。
- (6) 支部出版物について
 - (イ) 本部・支部の活動状況を可能なる限り克明に報道すべく、会員に投稿を願い月刊を目標とする。
 - (ロ) 会員の増加に伴い内容を検討し、会員名簿をよりよく修正し発行する。
- (7) 会員の福利厚生について
 - (イ) 本部企画の厚生施設に対する検討
 - (ロ) 旅行会の新たなる企画に対する調査、研究
 - (ハ) 福祉共済会への全員加入を目指す。
- (8) 支部内の経理内容を円滑にし、且つ、組織、事務等を近代化して運営を充実増進させる為、支部運営費を創設徴収する。

昭和47年度収支決算書

自昭和47年4月1日

自昭和48年3月31日

観東京都宅地建物取引業協会
府中稲城支部

総 収 入 1,008,565円

総 支 出 505,893円

差 引 残 高 502,672円

(次年度へ繰越)

収 入 の 部

科 目	47年度予算額	47年度決算額	摘 要
交 付 金			
会費交付金	432,000	476,500	500円×953人
入会金交付金	20,000	185,000	(注) 10,000円×18人 5,000円×1人
支部運営費			
諸交付金		67,000	
事業収入			
配布品売上		59,045	
立替金			
預り金			
雑収入	150,000	5,900	
繰越金	215,120	215,120	前年度剰余金繰越
収入合計	817,120	1,008,565	

支 出 の 部

科 目	47年度予算額	47年度決算額	摘 要
人 件 費 給 料 諸 手 当 賞 与 金 法定福利費			
小 計			
事 務 所 費 家 賃 電 話 料 通 信 費 事務用品費 交 通 費 消 耗 品 費 印 刷 費 水道光熱費 雑 費			円× ヶ月共益費含む
	3,000	2,120	
	20,000	4,330	
	120,000	94,000	
	5,000	28,048	
	65,000	40,000	
小 計	213,000	168,498	
会 議 費 支部総会費 支部理事会費 諸 会 議 費 ブロック 会費			
	100,000	69,890	
	100,000		
		27,770	
	24,000	24,000	
小 計	224,000	121,660	

科 目	47年度予算額	47年度決算額	摘 要
地区交付金			
慶 弔 費	10,000		
広 報 費		28,000	
涉 外 費			
新聞図書費			
什器備品費			
配布品仕入		59,045	
退職給与引当預金			
立 替 金			
預 り 金			
雑 支 出		32,000	
事 業 費			
支部報作成費	100,000		
講 習 会 費	30,000	10,000	
福利厚生費	80,000	35,150	
功勞者表彰費		41,800	
街頭相談所開設費	50,000	9,600	
出 版 費			
調査研究費	(予備費) 110,120	140	
小 計	380,120	215,735	
支出合計	817,120	505,893	

財 産 目 録

昭和 4 8 年 3 月 3 1 日現在

資 産 の 部

1. 流 動 資 産		1,169,015円
現 金 手 持 金	468,217円	
普 通 預 金	621,418円	
当 座 預 金	4,500円	
棚卸高(頒布品)	43,880円	
立 替 金	31,000円	
2. 固 定 資 産		0円
敷 金 事務所開設敷金	円	
什 器 備 品	円	
資 産 合 計		1,169,015円

負 債 の 部

3. 流 動 負 債		666,343円
4. 差 引 正 味 財 産		502,672円

昭和 4 7 年度一般会計の収支決算を以上の如く報告いたします。

昭和 4 8 年 3 月 3 1 日

支 部 長 関 谷 鉄之助 ㊟

経 理 部 長 野 口 武 ㊟

以上について監査を行なった結果内容に間違いのないことを認めます。

監 事 ㊟

" ㊟

資産の内訳

普通預金

八千代信用 451,205

富士B/K 170,213

計 621,418

当座預金

富士B/K 4,500

棚卸品

会員章(1,500×17コ) 25,500

本部よりの頒布品 18,380

計 43,880

立替金(会費分) 31,000

負債の内訳

預り金

別途会計(旅行預り分) 327,843

保証金(含入会金) 338,500

計 666,343

昭和48年度収支予算書案

自昭和48年4月 1日

至昭和49年3月31日

〓東京都宅地建物取引業協会

支 部

支 部 長 ㊦

経 理 部 長 ㊦

収 入 の 部

科 目	予 算 額	摘 要
交 付 金		
会費交付金	570,000	500円×95名×12ヶ月
入会金交付金	300,000	㊦ 20,000円×15名×12ヶ月 ㊦ 5,000円× 名×12ヶ月
支部運営費	1,068,000	1,000円×89名×12ヶ月
諸交付金	80,000	
事業収入		
配布品売上	250,000	
立替金		
預り金		
雑収入	50,000	
繰越金	502,672	昭和47年度の剰余金繰越
収入合計	2,830,672	

支 出 の 部

科 目	予 算 額	摘 要
人 件 費		
給 料	600,000	50,000円×1名×12ヶ月
諸 手 当	48,000	4,000円×1名×12ヶ月
賞 与 金	200,000	50,000円×1名4ヶ月
法定福利費		
小 計	848,000	
事 務 所 費		
家 賃	120,000	10,000円×12ヶ月
電 話 料	48,000	4,000円×12ヶ月
通 信 費	22,500	1,500円×12ヶ月
事務用品費	12,000	1,000円×12ヶ月
交 通 費	150,000	円×12ヶ月
消 耗 品 費	12,000	1,000円×12ヶ月
印 刷 費	20,000	
水道光熱費	6,000	500円×12ヶ月
雑 費	50,000	
小 計	440,500	
会 議 費		
支部総会費	150,000	1名¥1,500×100名
支部理事会費	50,000	毎月1回
諸 会 議 費	50,000	
ブロック会費	24,000	
小 計	274,000	

科 目	予 算 額	摘 要
地区交付金		
慶 弔 金	20,000	
広 報 費	30,000	
渉 外 費	100,000	
新聞図書費		
什器備品費		
配布品仕入	200,000	
退職金与引当預金		
立 替 金		
預 り 金		
雑 支 出	30,000	
事 業 費		
支部報作成費	120,000	
講習会費	30,000	
福利厚生費	50,000	
功労者表彰費	20,000	
街頭相談所開設費	30,000	
出 版 費	120,000	
調 査 研 究 費	10,000	
予 備 費	508,172	
小 計	1,268,172	
支 出 合 計	2,830,672	

緊急理事会開かる

とき……昭和四十八年四月二十七日午後二時

ところ……富士銀行会議室

出席者……関谷、石川、加藤武、榎峠、大島、井黒

成沢、小沢、室、染野、野口、出口各理事

審議事項

(一)昭和四十八年度予算案の件

右の件につき別表通りの予算案が野口経理部長より提案説明あり、一同慎重審議の結果、了承された。

(二)事務局設置及事務局員の件

右の件につき

事務局―西部地区（高倉不動産）事務所内

事務局員↓畠山謙吉氏に決定した。

(三)新規入会者取扱いに関する件

右の件については従来と違つて保証協会入会とも関連してくるので、支部規定（第六条）の改正問

題が必要事項として出てくるので、とりあえず理事会にて支部の内規に盛り込むことに決定

支部内規に追加

◎新入会員の規定

①都知事或いは建設大臣の免許申請が認可された者であること

②理事（地区担当）及会員の夫々一名、合計二名の推薦者を必要とする。

③二名の推薦者（紹介者）に依る入会申請を理事会（役員会）で審議し、承認されてから本部に申請する。

添付書類＝所定の申込申請者必要数 代表者
取引主任者（上半身） 店舗一望と内部夫々の写真

を必要数 提出のこと。

尚支部役員会、本部役員会の審議段階にて好ましくない業者は入会申請を拒否される場合もあります。

四講習会開催の件

右の件につきいづれ本部より指示があるが、特に

保証協会設立後の入会者を対象とする講習会を開催するのでその時は多数の御参加を願うとのこと。

田旅行会の件

今回の総会旅行についてはいろいろ意見があるがとに角やはり総会と旅行は別の日時が良いとの結論なり。

内本部交通費支給の件

今年度から本部会議に出席した場合には、本部より金五〇〇円也の交通費が支給されるとのこと。

出 其の他の件

前会長駒沢氏死去につき他支部と同一歩調にて、その葬儀次第に参列することで支部長に一任

八四十九年度版会員名簿の件

右の件につき報道部にて、四十八年五月下旬現在の会員名簿作成するので、その節は御協力願いたいとの事

―以上―

五月定例役員会

とき……昭和四十八年五月十六日午後五時より

ところ……静岡県伊東温泉ホテル川良

出席者……関谷、石川、榎峠、野口、加藤武、大島

成沢、鈴木、小沢、染野、加藤次、出口

朝倉各役員

欠席者……山村、松原、久保木、佐藤、安原、栗山

各役員

審議事項

(一) 支部事務局の件

右の件につき五月十六日付をもつて西部地区高倉不動産事務所内に「宅建業協会府中稲城支部事務局」が出来ましたので会員の方々にお知らせ致します。

事務局 TEL (六一) 一二九四五番です。

右設置にあたり配付物のルートを左記の様に確認いたします。

本部↓支部事務局

東部地区

中部地区

西部地区

稲城地区

それぞれの地区担当役員は従来通り各会員の戸口まで配付の事

□地価評価表の件

右の件につき昭和四十八年四月二日付官報に、全国地価評価が載りましたので、事務局に預けて置きますので御用の方は事務局迄

☐供託金払戻しの件

此度の保証協会発足に依る以前の個人で供託したものであるものについての取戻し方法については、

①官報掲載料は不要

②証明書は保証協会にて発行

一括でやるか、個々にやるかは未だ未定なり

四保証協会の財務委員会の件

右の件については一応業協会とは別格の法人とは

いいながらも密接な関係があるので、野口経理部長が兼任するとの事。尚内部的には同一人では大変なので渡辺経理副部長が担当するとの事

⑤故駒沢弘明氏の件

右の件については先の理事会にて、他支部と同一歩調をとることに決めてあつたが、

①支部負担三〇〇〇〇円予定のため支部会員より

一店舗三〇〇〇円の徴集する予定

①葬儀の参列には

関谷、朝倉、山村、栗山、石川、松原の各役員旗手として出口理事の七名とする。

⑥内支部年一回の大リクレーション大会の件

右の件につき支部会員、家族、従業員全員が参加し、終了後一堂に会して表彰式を行なつたらどうかの提案があり、これを、ゴルフ、ボーリング、つり、囲碁等々に分けて行うか、或いは全員で運動会をやる方法をとるか等次回継続審議との事

―以上―

日本製フラダンス見物の記!!

エース観光開発 瀧染野記

俗にいう雨男、雨女というものがほんとにいるならば、何と府中支部に多いことか？前日の天気がまるでウソのような雨模様の中を家内の車で送られ、途中大邦不動産出口、和地両氏を拾い一緒に府中本町駅にかけつける。集場所にはすでに参々伍々会員の方々が来ておりあちこちで談笑している。時間が迫りいよいよ世界に名高い農協団体もかくやとばかりに支部旗の下に勢揃い。旅行幹事栗山氏より夫々リボンを受取り胸に付け開通間もない武蔵野線をホームに待つ。程なくオレンジ色の電車到着一同乗り込む。商売柄新線開通を機会に開発途上の首都圏近郊の都市状況を観察するというふれこみの手前窓外の景色を一生懸命眺めるが見渡す限りの畑のみ末だ未だ空地（但売地にあらず）があるなあという感じとロングレールの立体交差の故かやけに乗り心地

の良い新線の印象のみ、車内で一早くウイスキーを飲み始めるものもいる。終点新松戸駅に一時間程で到着、ここで上野発普通列車平行に乗換え我孫子駅にて下車、説明によると此駅からいよいよ団体貸切列車に乗車するが出発迄に一時間半の時間待ちのこと。雨降るプラントホームではとても寒くて待ち切れないと一同我孫子の町に出てみるが、駅前商店街通り抜け約五分あとは田園という街並みのこと適当な場所のあろう筈もなく、やむなく一同パチンコ屋にぞろぞろと入り込む。たちまちはじきつくし、所在なく店内をうろつく者や、一発一発パチンコの玉のリズムと店内に流れる流行歌のテンポの相関関係を研究するもの、ただひたすらおのれのパチンコ台を打ち止めにせんものと必死のもの等、時ならぬ流れ渡世人を迎えた我孫子のパチンコ店もそのにぎやかな事一通りならず。たまりかねたか支配人もみ手しながら恐る恐る紀の国屋の親分さんに近寄りて「本日は御旅行ですか」とさぐりを入れる始末、

親分の「一時間程したら皆帰るよ」の言葉に支配人何やらほつとした様子なり。見るもの何も無き田舎の町なれどパチンコ店の玉売り娘がひなにはまれな美人であつたのがわずかに旅情をかきたてる。

やがて時間切れにて駅へと引返し団体列車に乗り込む。差し向いの四人掛にてようやく団体旅行の感じになり添乗員に配られたトリ飯弁当の昼食をばくつく。

十二時三十分我孫子発―土浦―水戸を経て、湯本駅に三時着、直ちに駅前より貸切バスにてハワイアンセンターに直行する。旅装とく問も、もどかしく四時より特別仕立ての会議室にて総会開催、一時間半の慎重審議の結果無事終了する。

さて五時よりは大広間での大宴会と聞き急いで広間にかけてつければ入口で夫々酒かジュースをどちらか一本好みの品を手渡され小生やはり旅先とて一合ピンを手にさげて座敷の中をのぞいたらCMソングそのままに「〇〇ヘルスセンター、××ヘルスセン

ター長生きしたけりや一寸おいで、チョコチョコノパーチョコチョコンのパ」とばかり五〇〇人程のちいさん、ばあさんずらり並んで座っている。ようやくすき間みつけて腰おろし府中本町駅長さんの御挨拶、続いてセンター提供寄席芸能の数々を耳にしながらい定食を喰う。やがて府中本町旅行会各グループ代表の踊りや歌が始まつて、当支部代表稲城大島氏の浪花節が花を添える。食事終つて娯楽館におもむけば色とりどりのゲーム台、外には出られぬ宿泊者で、ここ又ごつた返しの大盛況、急いで引き返したオル片手に名物のナイアガラ風呂へと一目散、あいにく雨のため目当てのナイアガラ風呂（野天風呂なり）には入れなく室内大浴場にて汗を流す。七時二十分より呼び物のフラワーショウを見物にステーション近くに腰おろす。突然場内真のやみ、声だけ聞える司会者の一見（一聞かな）ナイトクラブ風のイントロでいよいよショウの開幕、フラメンコダンス、平均年令十七才のフレッシュユメイトの女性バンド、エレク

トーンによる水上ステージにおける南国ファンタジー、おもしろおかしいファイアダンス、目まぐるしくお尻のゆれる御存じタヒチアンダンス等々延々一時間半におよぶショウ見物に団体旅行のダイゴ味を存分にあじわう。以下翌朝までは種々都合のため詳細を略す。

明ければ翌朝七時にメイドに起される。早速レストハウスの七階大浴室に飛込んでから食堂にと出掛ければ三列縦隊に整列済み、ドアが開くやずいずと係員に先導され各自お盆を一枚づつ手に持つて、山盛りにされた品々を、セルフサービス方式にて、手許にくり込み、テーブルに座りただ黙々と口内にほうり込む。それにしてもプラスチックの食器というのは喰物の味を殺してしまいうまくないですね。九時三十分バス乗車、湯本駅にてまた時間待ち、和地氏と二人で桜咲く駅前の小高い丘にのぼつてみる丘の上には婦人解放運動の先駆者樋口之リウ女史の胸像が湯本の街並みを見おろすように建されています。

る。街の誇る唯一の名士と覚える。十時二十四分発にて、いよいよ一夜の名残りを惜しみつつ団体列車は湯本駅をスタート帰路は終点立川迄乗り換えなしと聞き一同ゆつくりとくつろぎ車内のあちこちにて大小宴会がくり広げられる。この光景やはり四人掛の団体汽車旅行でなければ見られない。帰路についてようやく一同懇親旅行の感を深める。

上野―新宿―立川と夫々一同別れを告げながら、途中下車していきながら総会兼用旅行を無事終了したが、老体にも拘わらず幹事の栗山氏に苦勞を謝し感謝の念去りやらず　―以上―

附記

今回の定時総会が従来より早く計画されたので、総会準備の為、榎峠総務部長、野口経理部長の両氏にがんばつて頂いたことを会員諸氏に充分御理解願いたいと思います。(報道部長)

編集後記

- ◎日本人口の二五%がうろろしたゴールデンウィークも早や過ぎて、うつとおしい梅雨時を迎えんとしている今日此頃同舟五月号を御送り致します。
- ◎此の二ヶ月は各理事とも、本年度総会旅行、前会長の葬儀、或いは連休家庭サービス等々、目のまわるようないそがしさでしたね。
- ◎業界をとりまく環境も、規制やら業張の改正やはたまた地価の高騰やら回毎にきびしくなりますね。
- ◎とはいうものの府中稲城に此業種でメシを喰うもの百店余り。ここで目先ばかりにとらわれずに、一致団結して事に当るのが最上ではないかなー
- ◎幸い此度事務局開設、専従の職員も決まり、役員達も雑用から解放され本業に精が出せますね。
- ◎当支部初の試みとして一大リクレーションも、只今検討中とか。お互い仲良くしていきましようね。
- ◎原稿を御待ちします。

(報道部 出口 染野)

報道出版部長 出 口 吉 美
編集責任者 報 道 部 一 同